

令和 5 年 5 月 21 日現在

機関番号：64401

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2017～2021

課題番号：17H02330

研究課題名(和文) シンドバード航海記の成立過程と多元的価値共創文学の可能性に関する物語情報学的研究

研究課題名(英文) Narrative informatic studies of the story of Sindbad the sailor: the emergence and formation of literary function to co-create a pluralistic and multi-valued society

研究代表者

西尾 哲夫(Nishio, Tetsuo)

国立民族学博物館・グローバル現象研究部・教授

研究者番号：90221473

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,300,000円

研究成果の概要(和文)：シンドバード航海記はアラビアンナイトで最も有名な物語のひとつだが、その形成過程は未解明である。同物語は近世以後のエジプトで編集された標準写本群には入っているが、シリアで編集されたアラビアンナイトの原型には含まれておらず、成立時期だけでなく、アラビアンナイトに収録された過程も謎のままである。

本研究で新たに発見した、キリスト教徒の伝承による従来の標準版とはまったく異なる写本を校訂出版ならびに日本語訳をするとともに、全写本の相互関係を精査して、シンドバード航海記の成立過程を再検証し、異文明間を往来しつつ結節点を創出したアラビアンナイトの研究を足掛かりとして多元的価値世界への可能性を探った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

キリスト教徒による伝承の分析を通してシンドバード航海記の成立と伝承過程をめぐる新仮説を提唱するとともに、従来はアラブ的かつイスラーム的な文学伝統としてのみ捉えられてきたアラビアンナイトの形成過程を新たな視点で再検証することで、多元的価値共創文学の研究に向けた新領域を開拓する可能性があることを示した。インド洋海域世界におけるアラブ世界との関係に関する貴重な資料を提供することができ、海を知る人たちにとっての実用的案内書から、街に暮らす人たちにとっての娯楽的冒険譚へと変わる過程からは、異域を移動することで集積していく情報がどのように人びとの世界観に影響を与えるかということが明らかにできる。

研究成果の概要(英文)：The Story of the Sindbad Voyages is one of the most famous stories in the Arabian Nights, but the process of its formation remains unresolved. The story is included in the standard manuscripts compiled in Egypt in the post-modern period, but not in the original Arabian Nights compiled in Syria, leaving as a mystery not only the date of its formation but also the process of its inclusion in the Arabian Nights.

In this study, we have examined the interrelationships among all the manuscripts, re-examined the process of the formation of the Sindbad Voyages, and explored the possibility of a world consisting of pluralistic values on the basis of the study of the Arabian Nights, which had created a nexus while traveling between different civilizations.

研究分野：言語学

キーワード：外国文学 アラブ文学 比較文学 中東 イスラーム

1. 研究開始当初の背景

(1) 研究の学術的背景: ガラン写本の校訂を企画したマクドナルドは、アラビアンナイトとはムスリムによる文学作品であり、法学書や歴史書からは推測できない庶民の宗教実践や世界観を知るための第一級の資料であると考えた。この基本的態度は、最初の翻訳者アントワーヌ・ガランからエドワード・W・レイン、リチャード・バートン、日本での前嶋信次まで一貫している。ガラン版によって開始されたアラビアンナイトへのアプローチは、千一夜分の完全なアラビアンナイトを探求するものであると同時に、「イスラーム的」かつ「アラブ的」かつ「民衆的(フォークロア的)」なアラビアンナイトの再構築を目的としてテキスト伝承自体を学術的に囲いこんできた。しかしながら最近の研究により、ガラン写本がシリアのキリスト教徒によって読み継がれていたことが判明した。さらに、キリスト教徒が作成したと思われる挿絵入り写本が発見され、シンドバード航海記をはじめとする物語伝承においてキリスト教徒が果たした役割が明らかとなってきた。これにより、従来のアラビアンナイト観は大きな修正を迫られている。

(2) これまでの研究成果と本研究での新たな課題: 本研究に先行して実施した基盤研究(S)と(A)では新たな仮説として、アラブ世界とヨーロッパ世界が相互影響しあうオリエンタリズム的文学空間においてアラビアンナイトが形成されたこと、アラブ世界の言語社会的変化のなかで文字化される民衆文化としてテキスト伝承の標準化が進行したことを提出した。今後の研究展開としては、正典とみなされてきたカルカッタ第二版やブーラク版だけではなく、既存の研究では無視されてきた非標準的写本群(偽典や外典)をも対象とし、アラブ世界における民衆文学と文字文化をめぐる社会的位相の中で、アラビアンナイトを構成する個々の物語の発生と生態に焦点をあてながら、総体としての文明的現象としてアラビアンナイトの形成過程をとらえなおさなければならない。

2. 研究の目的

これまでの研究によれば、シンドバード航海記にはふたつの異なった伝承があり、第7航海の物語を基準としてA版とB版に分けられる。基本的にA版は独立した写本のかたちで伝承されており、B版はブーラク版やカルカッタ第二版のようなアラビアンナイト編集版中の物語として伝承されている。定説では15世紀頃までのエジプトでA版をもとにした加筆が行われた結果、B版が成立したとされてきたが、本研究に先行して実施した研究の過程で、A版やB版とは異なる写本を発見した(約30本の独立系写本のうち、新発見の写本は10本)。この中にはキリスト教徒の伝承になるガルシューニー写本(シリア文字で書かれたアラビア語)が含まれている。A版とB版の関係解明に代わって全写本テキストを分類し、相互関係をさぐることによってシンドバード航海記の成立と伝承過程をめぐる新仮説を提唱し、原テキストがどのようなものであったかについて復元作業を行う。

3. 研究の方法

本来は独立した物語として、ムスリムだけでなくキリスト教徒によっても伝承されていたシンドバード航海記が、アラビアンナイトに抱合されることで、どのように変容していったかについて解明するために、シンドバード航海記のすべての写本の収集とその分類、A版やB版とは異なるテキスト伝承による写本の校訂、エピソードならびにモチーフによる物語構造とその相関関係の分析、印刷版を含む標準的伝承と非標準的伝承の比較による原テキストの復元、以上4つの基本的作業を行う。これによってシンドバード航海記成立の謎を解明し、アラビ

アンナイトが文明的枠組みを超越して新たな結節点を創出していった変相を事例研究として、多元的価値共創空間としての世界文学の可能性について考察するための新たな視座を提示する。そのための具体的な解明事項と研究作業として、以下の研究項目を実施する。

(1) シンドバード航海記のA版とB版ならびに両者とは異なる新発見の版に関する写本の特徴と、それに基づく写本間相互の系統関係を解明するために、以下の具体的な研究作業を行う。

シンドバード航海記のすべての写本の収集とその分類作業

A版やB版とは異なるテキスト伝承による写本の校訂作業

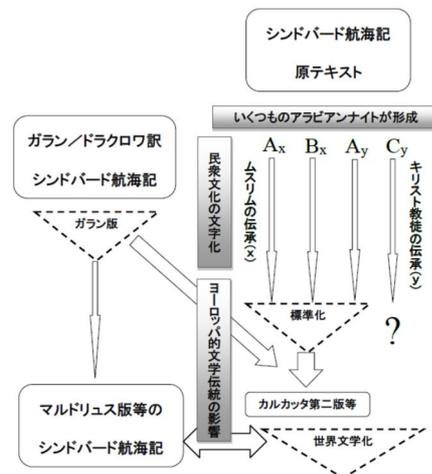
(2) 異文化環境におけるシンドバード航海記の伝承プロセスについて、物語情報学的分析手法によって物語発生と変容の実態を解明するために、以下の研究作業を行う。

エピソードならびにモチーフによる物語構造とその相関関係の分析作業

印刷版を含む標準的伝承と非標準的伝承の比較による原テキストの復元作業

4. 研究成果

新たに発見したキリスト教系写本を校訂出版した、『Histoire arabe de Sindabad Le Marin par François Pétis de La Croix – édition critique des manuscrits conservés à la Bibliothèque d'État de Bavière de Munich et à la Bibliothèque publique de Cleveland』ならびに、中東と欧州を横断した新たな「民衆化」の展開の諸相をも明らかにすることを目的とした国際的な共同研究の成果である欧文論集『Sur la notion de culture populaire au Moyen-Orient : Approches franco-japonaises croisées』に寄稿したフランス語論文「L'Histoire de Sindbad le Marin est-elle de la littérature populaire? : Une approche nouvelle des relations entre tradition littéraire et culture populaire au Moyen-Orient」において、従来の標準版とはまったく異なるキリスト教徒の伝承による写本が存在することを示すとともに、特にこれまでの研究において第7航海の物語を基準としてA系統とB系統に分けられていたものに、まったく別のC系統が存在することを新たに明らかにするとともに、シンドバード航海記の成立に関する新たな仮説を提出した。さらには、キリスト教徒の伝承になるガルシューニー写本(シリア文字で書かれたアラビア語)を詳細に分析し、全写本テキストを分類し、相互関係をさぐることによってシンドバード航海記の成立と伝承過程をめぐる新仮説を提唱した(右の図を参照)。



(注: A=A版、B=B版、C=ABと異なる版)

シンドバード航海記の成立過程の問題について

では、様々な写本を比較分析した結果から、この物語はアラビアンナイトにはもともと入っていなかったと考えるのが妥当である。各写本に見られる特徴的なエピソードの構成とその分布をもとに、シンドバード航海記の成立過程を分析すると、当初のシンドバード航海記は、船乗りが携帯する実用書のような性格を持っていたと推定される。その後、A~C系統に属するさまざまなシンドバード航海記が誕生したのであるが、A系統とB系統の場合はアラブ・イスラーム世界全体に広まり、標準的なテキスト伝承として印刷版にもなった一方、C系統の場合はキリスト教徒のあいだでの伝承にとどまっていたのではないかと推察される。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計9件（うち査読付論文 5件／うち国際共著 2件／うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 西尾哲夫、岡本尚子	4. 巻 42-4
2. 論文標題 Un document inedit a propos des ouvrages de Francois Petis de La Croix (1653-1713)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国立民族学博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 411-433
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15021/00009096	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 164
2. 論文標題 キリスト教徒が伝えたシンドバード航海記	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 73-78
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫、中道静香、岡本尚子、鷲見朗子	4. 巻 44
2. 論文標題 The Arabian Nights and Urban Middle-class Cultures in the Arab World: Revisiting the Formation of the So-called Egyptian Recension	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Minpaku Anthropology Newsletter	6. 最初と最後の頁 5-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 西尾哲夫	4. 巻 171
2. 論文標題 世界文学としてのアラビアンナイト ガラン版アラジンから考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 こどもとしょかん	6. 最初と最後の頁 2-20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tetsuo Nishio et Naoko Okamoto	4. 巻 -
2. 論文標題 L' Histoire de Sindbad le Marin est-elle de la littérature populaire? : Une approche nouvelle des relations entre tradition littéraire et culture populaire au Moyen-Orient.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Dominique Casajus, Tetsuo Nishio, Francois Pouillon, et Tsuyoshi Saito (dir.), Sur la notion de culture populaire au Moyen-Orient : Approches franco-japonaises croisees.	6. 最初と最後の頁 41-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tetsuo Nishio, Naoko Okamoto and Margaret Sironval	4. 巻 -
2. 論文標題 Joseph-Charles Mardrus and Orientalism: Re-evaluating His Translation of the Arabian Nights in Light of New Findings from Mardrus' Personal Archives.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Akiko Sumi and Tetsuo Nishio (eds.), The Personal and the Public in Literary Works of the Arab Regions.	6. 最初と最後の頁 109-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計13件 (うち招待講演 6件 / うち国際学会 4件)

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 中世から近代におけるアラブ民衆文学の中国表象 アラビアンナイト異本の比較分析から
3. 学会等名 国際シンポジウム『シルクロードと文化交流 人の移動、表象、物語』(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫、岡本尚子
2. 発表標題 アラブ音楽研究における 民衆 概念 Guillaum Andre Villoteau (1759 ~ 1839) とSimon Jargy (1919 ~ 2001)
3. 学会等名 民博共同研究「個世界論 中東から広がる移動と遭遇のダイナミズム」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 Joseph-Charles Mardrus and Orientalism: Re-evaluating his Translation of the Arabian Nights in Light of New Findings from "Mardrus Collection Bequest"
3. 学会等名 国際シンポジウム「French Orientalism and Its Afterlives in Japan and the Middle East」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 The Role of Poetry and Character-shaping in an Early Nineteenth Century Vernacular Version of the Arabian Nights: An Attempt to Reconsider the Relationship between "Modern" and "Ego" in the Middle East
3. 学会等名 国際シンポジウム「The Personal and the Public in Literary Works of the Arab Regions」(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 人間にとって物語とは何か？ 人類史的試論
3. 学会等名 説話・伝承学会2022年度春季大会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西尾哲夫
2. 発表標題 文学と地域研究 環境と心性を架橋する人と自然の新たな風土学を求めて
3. 学会等名 第40回人文機構シンポジウム『人類妄想進化論 文学はいかに地球社会を共創するのか?』(招待講演)
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計9件

1. 著者名 西尾哲夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 310
3. 書名 『ガラン版千一夜物語』第1巻	

1. 著者名 西尾哲夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 310
3. 書名 『ガラン版千一夜物語』第2巻	

1. 著者名 西尾哲夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 340
3. 書名 『ガラン版千一夜物語』第3巻	

1. 著者名 西尾哲夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 312
3. 書名 『ガラン版千一夜物語』第4巻	

1. 著者名 西尾哲夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 312
3. 書名 『ガラン版千一夜物語』第5巻	

1. 著者名 西尾哲夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 302
3. 書名 『ガラン版千一夜物語』第6巻	

1. 著者名 シモン・ジャルジー著、水野信男監修、西尾哲夫、岡本尚子訳	4. 発行年 2019年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 180
3. 書名 『アラブ音楽』	

1. 著者名 Tetsuo Nishio et Okamoto Naoko	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Center for Modern Middle East Studies, National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 110
3. 書名 Histoire arabe de Sindabad Le Marin par Francois Petis de La Croix – edition critique des manuscrits conserves a la Bibliotheque d'Etat de Baviere de Munich et à la Bibliotheque publique de Cleveland.	

〔産業財産権〕

〔その他〕

シンドバード航海記の成立過程と多元的価値共創文学の可能性に関する物語情報学的研究
<http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/project/other/kaken/17H02330>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小田 淳一 (Oda Jun'ichi) (10177230)	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・研究員 (12603)	
研究分担者	岡本 尚子 (Okamoto Naoko) (90600817)	国立民族学博物館・グローバル地域研究国立民族学博物館拠点・特任助教 (64401)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 シルクロードと文化交流 人の移動、表象、物語	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Polyphonie en litterature arabo-berbere de langue francaise	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 The Personal and the Public in Literary Works of the Arab Regions	開催年 2018年～2018年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関